

新型コロナウイルス感染症関連

「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」から お菓子とメッセージの寄附を受領

第二次世界大戦終戦直後のドイツで伝染病患者の治療に尽力し、八王子市とドイツ・ヴリーツェン市との友好交流協定締結のきっかけとなった、本市出身の医師・故肥沼信次博士こえぬまのぶつぐ。「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」より、新型コロナウイルス感染症の対応にあたられている医療従事者の方々にお菓子とメッセージをいただきました。

メッセージは、「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」の会員や、博士の母校である市立第三小学校、ヴリーツェン市の聖ヨハニッター校と姉妹校提携を結んでいる八王子学園八王子中学校・高等学校の児童・生徒たちが、心を込めて書いたものです。

お菓子とメッセージは、いただいたその日に医療機関へお渡ししました。

記

1 受領日 3月8日（月）

2 送付先 市内医療機関

3 メッセージ制作協力

Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会 会員
八王子学園八王子中学校・高等学校 生徒
八王子市立第三小学校 児童



<問い合わせ> 医療保険部 地域医療政策課長 井上

電話 042-620-7292